

“脳力開発について”

松木脳力開発研究所 代表 松木 毅

『ごきげんな脳はがんばる』けれど『不機嫌な脳は頑張らない』のです。

“脳力開発トレーニング”により、本来の人間が持つ潜在的な能力を効率よく引き出すことができます。

能力には『保有能力』と『発揮能力』があり、多くの人たちはほとんど大差なく能力を保有しています。しかし、それを発揮できるかどうかは別物です。残念なことに、圧倒的 majority の人は保有している能力を発揮できていません。なぜ、人は本来あるはずの能力を発揮できないのでしょうか。それは、曖昧な不安、迷いやためらい、恐れや自信の無さ等、それらが交ぜとなって自身の脳にブレーキをかけてしまうからです。そうです、脳がピュアになり『脳を最高の状態』にして物事に取り組むことは難しく、人はいつだって心にブレーキをかけながら生きているのです。現実には能力の差が生じているのは心理面（想像、感情、思考）に原因があり、これをプラスにコントロールすることができれば誰でも持てる能力を発揮して素晴らしい結果を得ることができます。

人間の脳は体験・経験や教わったこと等、その環境の中で様々なことを無意識の内に学習（データとして脳にインプット）して可能性の枠や常識の枠をつくっていきます。実力（能力）は実行力（行動力）あってこそですが、行動にブレーキをかけてしまうのが記憶されたマイナスのデータなのです。マイナスデータの量、そしてプラスデータとのバランスが人によって違い、それこそが能力の差となって現れるのです。

このトレーニングを行えば誰でも脳をポジティブにコントロールすることが可能です。曖昧な不安や迷いやためらい、恐れや自信の無さ等を払拭して脳にかかっていたブレーキを解き放ち、本来の保有（潜在）能力を最大限に発揮（顕在化）することができます。

人はやるべきことや目標に対して脳がピュア（迷いや不安等がない状態）になり“快”を感じれば意欲的になれるし、誰もがその達成に向かって突き進んでいくのです。